

総務委員会資料

◎付託議案説明資料

- | | |
|-----------|---|
| ○承認第6号議案 | 専決処分事件の報告及び承認について[関係分]
《令和3年度島根県一般会計補正予算（第3号）》
・・・・・・・・ P 1 |
| ○承認第10号議案 | 専決処分事件の報告及び承認について[関係分]
《令和3年度島根県一般会計補正予算（第4号）》
・・・・・・・・ P 3 |
| ○第99号議案 | 令和3年度島根県一般会計補正予算（第6号）[関係分]
・・・・・・・・ P 5 |

令和3年9月30日・10月1日

政策企画局

「令和3年度島根県一般会計補正予算(第3号)」
(政策企画局 所管分)

(単位 千円)

事業名	補正前の額	補正額	計	概要	予算科目			議案資料3 掲載ページ
					款	項	目	
政策企画監室	319,956	0	319,956					
女性活躍推進課	433,806	0	433,806					
秘書課	128,562	0	128,562					
広聴広報課	457,906	5,700	463,606	財源 県 5,700				
1 政策に関する情報提供事業費	145,034	5,700	150,734	令和3年7月からの大雨災害に係る県の支援策等を新聞広告やSNS広告で県民に広く周知	2	1	3	P13
統計調査課	375,594	0	375,594					
政策企画局 合計	1,715,824	5,700	1,721,524	財源 県 5,700				

令和3年7月6日からの大雨に係る対応について

1. 事業趣旨

7月6日からの大雨による被害に対する支援制度や相談窓口を周知するため、県民向けに新聞やSNSを活用した広報を実施

2. 事業内容

(1) 新聞広告

大雨被害に対する県の支援制度や県、市町の相談窓口等を県民に広く周知するための広報を実施

① 支援制度・相談窓口の案内

(7月16日 7段、7月31日 15段 山陰中央新報)

② 農業者支援制度の案内(8月3日 5段 山陰中央新報)

③ 中小企業支援制度の案内(8月4日 7段 山陰中央新報)

(2) SNSの活用

大雨被害に係る支援制度や相談窓口を掲載したページ(県ホームページ)へ誘導など、SNSを活用した広報を実施

① 県公式Facebookでの記事配信(7月13日)

② SNS広告(8月1日～8月31日)

3. 補正予算額(専決処分日 令和3年7月27日)

5,700千円(一般財源 5,700千円)

「令和3年度島根県一般会計補正予算(第4号)」
(政策企画局所管分)

(単位 千円)

事業名	補正前の額	補正額	計	概要	予算科目			議案資料4 掲載ページ
					款	項	目	
政策企画監室	319,956	0	319,956					
女性活躍推進課	433,806	0	433,806					
秘書課	128,562	0	128,562					
広聴広報課	463,606	5,700	469,306	財源 県 5,700				
1 政策に関する情報提供事業費	150,734	5,700	156,434	令和3年7月、8月の大雨・台風災害に係る県の支援策等を新聞広告やSNS広告で県民に広く周知	2	1	3	P13
統計調査課	375,594	0	375,594					
政策企画局 合計	1,721,524	5,700	1,727,224	財源 県 5,700				

令和3年7月及び8月の大雨、台風に係る対応について

1. 事業趣旨

台風・大雨被害に対する県の支援制度や相談窓口を周知するため、県民向けに新聞やSNSを活用した広報を実施

2. 事業内容

(1) 新聞広告

台風・大雨被害に対する県の支援制度や県、市町の相談窓口等を県民に広く周知するための広報を実施

- ① 支援制度・相談窓口の案内（9月3日 15段 山陰中央新報）
- ② 農業者支援制度の案内（9月3日 5段 山陰中央新報）
- ③ 中小企業支援制度の案内（9月6日 7段 山陰中央新報）

(2) SNSの活用

台風・大雨被害に係る支援制度や相談窓口を掲載したページ（県ホームページ）へ誘導など、SNSを活用した広報を実施

- ① SNS広告（9月3日～9月30日）

3. 専決予算額（専決処分日 令和3年8月30日）

5,700千円（一般財源 5,700千円）

「令和3年度島根県一般会計補正予算（第6号）」
 （政策企画局所管分）

（単位 千円）

事業名	補正前の額	補正額	計	概要	予算科目			議案資料2 掲載ページ
					款	項	目	
政策企画監室	319,956	△ 6,282	313,674	財源 (県) △6,282				
1 一般職給与費	198,174	△ 6,282	191,892	一般職員 22人	2	1	1	P 27
					2	2	1	P 28
					2	4	1	P 30
女性活躍推進課	433,806	16,483	450,289	財源 (県) 16,483				
1 あらゆる分野での女性の活躍推進事業費	50,094	12,367	62,461	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、女性の就労を支援するためワストップの就職相談窓口の機能を強化 [債務負担 補正前 R4~R5 60,628 補正後 R4~R5 81,998]	2	2	1	P 28
2 一般職給与費	53,489	4,116	57,605	一般職員 8人 (1名増)	2	2	1	P 28
秘書課	128,562	△ 3,109	125,453	財源 (県) △3,109				
1 特別職給与費	38,635	△ 10	38,625	特別職 2人	2	1	1	P 27
2 一般職給与費	67,532	△ 3,099	64,433	一般職員 9人	2	1	1	P 27
広聴広報課	469,306	133,776	603,082	財源 (県) 133,776				
1 しまねのイメージ発信事業費	48,296	82,973	131,269	島根への関心を高め、県外からの移住の検討や県内での定住につながるよう、島根の人や暮らしなどの魅力の情報発信を強化	2	1	3	P 27
2 新型コロナウイルス感染症対策関連広報事業費	44,834	50,016	94,850	新型コロナウイルス感染症の拡大防止や各種支援など関連する情報を、各種媒体を活用して県民に分かりやすく発信する広報について、上半期の実施状況を踏まえ、不足分を予算措置	2	1	3	P 27
3 島根の応援団ネットワーク事業費	0	9,826	9,826	島根の暮らしに関心を持つ人や島根を応援する島根ファンの増加を目的とした島根応援サイト「リメンバーしまね」のリニューアルを実施	2	1	3	P 27
4 一般職給与費	103,978	△ 9,039	94,939	一般職員 14人	2	1	1	P 27
統計調査課	375,594	△ 12,159	363,435	財源 (県) △12,159				
1 一般職給与費	207,920	△ 12,159	195,761	一般職員 29人 (1名減)	2	7	1	P 32
政策企画局 合計	1,727,224	128,709	1,855,933	財源 (県) 128,709				
うち職員給与費を除く	143,224	155,182	298,406	財源 (県) 155,182				
うち職員給与費	669,728	△ 26,473	643,255	財源 (県) △26,473 (長等2人 一般職員82人)				

女性の雇用・就業相談体制の強化 (あらゆる分野での女性の活躍推進事業)

1. 趣 旨

感染症の影響が長引く中、女性の就労を支援するため、ワンストップの就職相談窓口「レディース仕事センター」の機能を強化する。

[レディース仕事センターの概要]

- ・ 県内企業で就労を目指す女性の就職相談窓口を東部（松江市）、西部（浜田市）の2か所に設置し、女性の就労に関するワンストップの支援体制を整備（平成30年度～）
 [契約内容] 期間：令和3～5年度 委託先：（一社）島根県労働者福祉協議会
- ・ 相談対応、求人票の紹介ほか、求職者のニーズに基づき、企業訪問による求人開拓や求職者への寄り添い型の支援など、きめ細かな支援を実施することにより就職に結びつけている。

2. 県内の状況

- ・ 長引く感染症により、全国的に女性の就業者が多いサービス業等が影響を受ける中、レディース仕事センターの就職相談が増加している。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (8月末時点)	R3年度	
					前年度同月比 (%)	9月～8月比 (%)
相談件数 (件)	924	1,428	1,462	575	110.8	109.3
就職者数 (人)	116	156	244	74	72.5	120.7

- ・ 加えて、県西部では求人倍率が高い状況が続いており、慢性的な人手不足となっている。

[R3.7月地域別有効求人倍率(原数値)] 県西部 1.67 (参考:県東部 1.38)

3. 補正予算の内容

(1) 事業内容

- ① 相談員の2名増員（東部：2名→3名、西部：2名→3名）
- ② 西部拠点事務所を移転・拡充し、相談機能の強化及び執務スペースの確保
- ③ 就労に向けた支援として、新たにパソコン講習の実施
- ④ 相談窓口がない地域での出張相談の強化、広報の拡充など

(2) 補正予算額

- ① 補正額 12,367千円（一般財源 12,367千円） ※補正後額 42,868千円
- ② 令和4～5年度債務負担行為額の変更 21,370千円 ※補正後額 81,998千円

しまねのイメージ発信事業（9月補正予算）

1. 事業目的

地方への移住に関心のある都会の若者に向け、「人間らしい、温もりのある暮らし」を実現できる島根のイメージを発信する「いいけん、島根県」プロモーションを展開し、島根県への関心を高め、移住先の選択肢の一つとしてもらう。

また、県内の中高生やその親世代に向け、島根の暮らしに肯定的なイメージを持ってもらうため、テレビやラジオを活用した情報発信を行い、将来も島根で暮らす選択を促すことを目的とする。

そのため、首都圏に向けた情報発信の強化とコンテンツの制作、県内向けの情報発信を行い、さらなるイメージ定着を図る。

2. 事業概要

(1) 「いいけん、島根県」プロモーションの拡充【70,213千円】

- ① 交通広告の期間延長
- ② 移住者の暮らしを紹介する小冊子（第3弾）の制作
- ③ 地方移住に関心がある方の「行動喚起・行動変容」を促す新たなコンテンツの制作
- ④ ターゲット層（20～30代）がよく購読する雑誌への広告掲載

(2) 県内向けラジオ番組の制作・放送【10,760千円】

- ① 放送回数 令和4年1月～3月、週1回（各30分） 計12回（予定）
- ② 放送内容 様々なジャンルの方に「しまね暮らし」の魅力について語っていただく

(3) 県ホームページ機能強化 【2,000千円】

- ① 表示方法や項目の見直しなどの改修
- ② 携帯電話用ページでのタップコール^{*}機能の追加
※表示された電話番号に触れると電話を掛けられる機能

3. 予算額

9月補正予算額	82,973千円
(R2繰越)	187,167千円
(R3当初)	48,296千円
〔合計〕	318,436千円

令和3年度 しまねのイメージ発信事業（ゴシック：9月補正分）

【実施方針】

- ① 昨年度作成した素材を修正し、改めて発信する(9～12月)
- ② 地方移住に関心がある方の「行動喚起、行動変容」を促すため「都市と自然のバランスがとれた暮らし」を訴求する。
- ③ 昨年度のアンケート調査で評価の高かった「子育て環境の良さ」「人との触れ合い」などの魅力を強調して発信する。
- ④ 中高生、及び、その親世代を対象とした県内向け広報を強化する。

	実施内容	R2繰越 R3当初 A	R3.9補 予算額 B	R3補正後 計 C=A+B
県外 向け 「いいけん、 島根県」	交通広告（三大都市圏） ①フェーズ1～3〔宣言 / イメージ醸成 / リアル訴求〕 地下鉄:主要30駅 1週間×3回、主要4駅 4か月 ②フェーズ4〔行動喚起・行動変容〕 地下鉄:主要30駅 1週間×3回、主要4駅 3か月 JR :主要26駅 1週間×1週	【R2繰越】 36,904	0	63,961
	①フェーズ3 地下鉄:主要30駅 1週間×1回 ②フェーズ4 地下鉄:主要30駅 1週間×5回	0	27,057	
	小冊子「SHIMANE Life」 ※三大都市圏でポスティング [Vol.1]昨年度作成版(時点修正) 5万部 [Vol.2]都市と自然のバランスがとれた暮らし 15万部	【R2繰越】 33,664	0	61,500
	[Vol.1]昨年度作成版(時点修正)の増刷 10万部 [Vol.3]行動変容に繋がる新たなコンテンツの制作	0	27,836	
	SNS広告等 ①YouTube、Facebook、Instagram、Twitter等での広告 ・一般向け（10代後半～30代） ・島根県ゆかりの若者向け ②SNSキャンペーン	【R2繰越】 29,293	0	29,293
	雑誌広告 ターゲット層(20～30代)の購読雑誌へ出稿 (例 BRUTUS、Go Out、ひよこクラブ、TURNS など)	0	15,320	0
	小計	99,861	70,213	154,754
県内 向け	県民ドラマ R3新規 中高生及びその親世代向けに、「島根の暮らし」に肯定的なイメージを持ってもらい、将来も島根で暮らす選択を促す	【R2繰越】 87,306	0	87,306
	人と暮らし動画 仕事だけでなく、趣味や社会活動に時間を割いて生き生きと暮らす大人を動画で紹介	【R3当初】 9,900	0	9,900
	新聞広告・テレビCM 将来の定住に向けたイメージ発信及び島根創生に関する広報	【R3当初】 25,300	0	25,300
	ラジオ番組 中高生の親世代向けに、様々なジャンルの方にしまね暮らしの魅力を語ってもらう	0	10,760	0
その他	関係人口との交流 島根創生に係る広報強化等 情報発信強化・緊急広報	【R3当初】 13,096	0	13,096
	県HPの機能強化 表示方法の改修など		2,000	2,000
合 計		235,463	82,973	318,436

島根の応援団ネットワーク事業（9月補正予算） ～しまね応援サイト「リメンバーしまね」リニューアル～

1 事業目的

「リメンバーしまね」は、県の認知度向上を目的に、登録者からの投稿を中心とした参加型コミュニティサイトとして平成18年に開設。

近年、新規登録者やサイトの閲覧、各コーナーへの投稿が減少しているため、既存コーナーの見直し、及び、移住・定住など県の施策に関連するコーナーの新規開設などにより、認知度向上に加え、将来の移住・定住に繋がることが期待される関係人口の拡大を促進する。

2 現状と課題

- (1) 開設当初は投稿による意見交換が活発に行われていたが、SNSの普及で魅力が低下し、投稿者数や投稿数が減少
- (2) 各コーナーの内容や投稿者の固定化などによる新規登録数やサイトの閲覧数の伸び悩み

【登録者数】23,245人（R3.3.31現在、平均年齢42.0歳、県外在住者87.1%）

【閲覧数】R2年度515,066回（過去最高H22年度1,881,772回）

3 事業概要

- (1) コーナーの見直し・廃止
 - ① 移住・定住に繋がる情報交換コーナー（子育てや住環境など）の新設
 - ② 投稿数を増やすための参加型コーナーの見直し
 - ③ 閲覧が少ないコーナーや内容が重複しているコーナーの廃止・統合
 - ④ 県の関連施策サイトへの誘導
(例) 移住関連コーナーを新設し、定住財団サイト「くらしまネット」へ誘導
- (2) SNS連携による新規登録や投稿を可能にするシステム改修
(例) SNSアカウントで登録可能とする（手続きの簡素化）

4 予算額

9,826千円